

# 学校だより

平成29年冬休み号

<教育目標> 意欲を育て 夢を育む学校

大阪狭山市立第七小学校

## 「棋界」に見る無限の探求心

校長 沼田 貞治

今年の漢字が「北」と発表されました。でも私的には「棋」という字がすごくインパクトがあったなと思います。「棋」というのは**棋士の棋**。囲碁や将棋のプロを棋士といいます。中学生棋士、藤井聡太さんの29連勝、ヒフミンこと将棋界のレジェンド加藤一二三さんの大ブレイク、将棋界、囲碁界の頂点にいて、ともに七冠制覇した羽生善治さんと井山裕太さんの国民栄誉賞。

私、いつまでたってもうまくなりませんが、自称将棋ファンなので羽生さんのニュースはともうれしいです。インタビューの中で羽生さんは「将棋は奥が深く、どれだけわかっているか



羽生善治さん

井山裕太さん

といわれると、全然わかっていない・・・とおっしゃってられました。これはけっして謙遜ではなく本当にそう思っておられると思います。30余年、将棋界のトップに立ち続けるモチベーションを保つということは、無限の探求心のなせるわざかな、と思います。

調べてみると、1996年羽生さんが七冠制覇したとき、「ゾウを針の穴に通す」より難しい偉業と言われたそうです。要は不可能ということ。今回の永世七冠制覇というのはさらにあり得ない偉業ということになります。

井山さんや藤井さんにはこの偉大な先人を目標にして、追いつき追い越してほしいなと思います。七小の子たちも、ぜひ刺激をもらって目標になるだれかを見つけて、モチベーションを上げてほしいなと思います。この冬休みに一度お家でお話してみてください。

保護者の皆さま、今年一年はどんな年だったでしょうか。私はいつも新しい年に「あれがしたい、これもしたい」と思うのですが、満足にできたためしはないです。それでもまた、新年の目標と夢を考えてみたいと思います。

今年の冬休みは17日間。どうぞ子どもたちには有意義な冬休みを過ごさせてあげてください。

皆さまどうぞよいお年を。